

ニチレイロジグループ

2020年度事業報告会

2021年5月17日

1. 企業概要

2. 2021年3月期 決算概要

3. 中期経営計画

①進捗状況

②2021年度重点施策

4. 参考資料

1. 企業概要

[組織体制]

(株)ニチレイロジグループ本社 (持株会社)

2021年4月1日現在

地域保管事業

(株)ニチレイ・ロジスティクス北海道

(株)ニチレイ・ロジスティクス東北

(株)ニチレイ・ロジスティクス関東

(株)キョクレイ

(株)ニチレイ・ロジスティクス東海

(株)ニチレイ・ロジスティクス関西

(株)ニチレイ・ロジスティクス中四国

(株)ニチレイ・ロジスティクス九州

エンジニアリング事業

(株)ニチレイ・ロジスティクス
エンジニアリング

物流ネットワーク事業

(3PL・運送・流通・加工)

(株)ロジスティクス・ネットワーク

(株)NKトランス



子会社33社 関連会社8社

タイ事業 (関連会社)

SCG Nichirei Logistics Co.,Ltd.

マレーシア事業 (関連会社)

NL Cold Chain
Network(M)SDN BHD

海外事業

欧州事業

Nichirei Holding Holland B.V.

HIWA Rotterdam Port Cold Stores B.V.

Eurofrigo B.V.

Thermotrafic Holland B.V.
Thermotrafic UK Ltd.
Kevin Hancock Ltd.

Thermotrafic GmbH

Frigo Logistics Sp.z o.o.

Transports Godfroy S.A.S

Entrepots Godfroy S.A.S

中国事業

日冷物流投資(上海)有限公司

上海鮮冷儲運有限公司
江蘇鮮華物流有限公司
南京鮮華物流有限公司

1. 企業概要

2. 2021年3月期 決算概要

3. 中期経営計画

①進捗状況

②2021年度重点施策

4. 参考資料

2. 2021年3月期 決算概要

[ハイライト]

連結	コロナ禍の環境においても増収増益を確保		
	売上高	: 2,123億円	前年比 3%増
	営業利益	: 131億円	前年比 11%増
物流 ネットワーク 事業	巣ごもり需要拡大による家庭向け取扱物量増が業績伸長に寄与		
	売上高	: 1,028億円	前年比 2%増
	営業利益	: 51億円	前年比 24%増
地域保管 事業	名古屋みなと物流センターが計画通り稼働、関西ネットワーク化も順調に推移		
	売上高	: 694億円	前年比 8%増
	営業利益	: 70億円	前年比 4%増
海外 事業	コロナ影響により売上減少するも、量販顧客取扱伸長と軽油価格下落により増益		
	売上高	: 365億円	前年比 3%減
	営業利益	: 14億円	前年比 17%増

2. 2021年3月期 決算概要

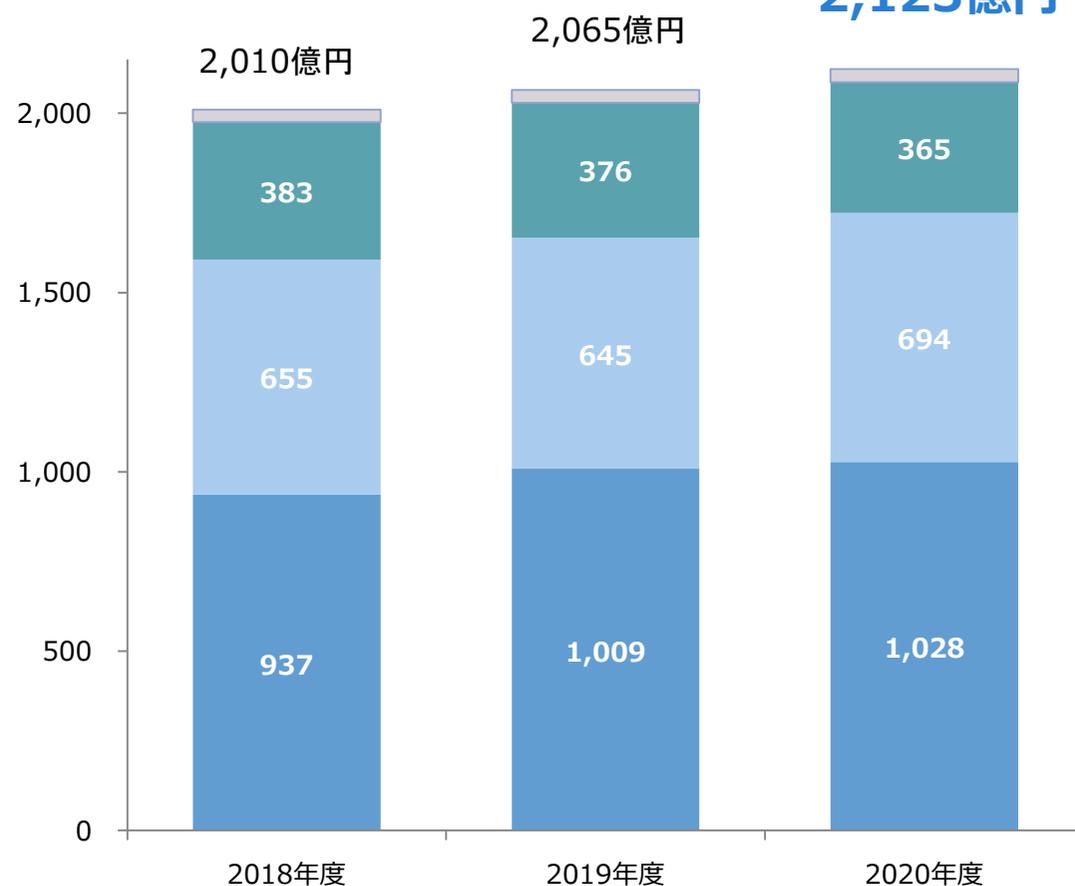
[連結業績]

売上高推移

- その他・共通
- 海外
- 地域保管
- 物流ネットワーク

前年比**3%増**

2,123億円

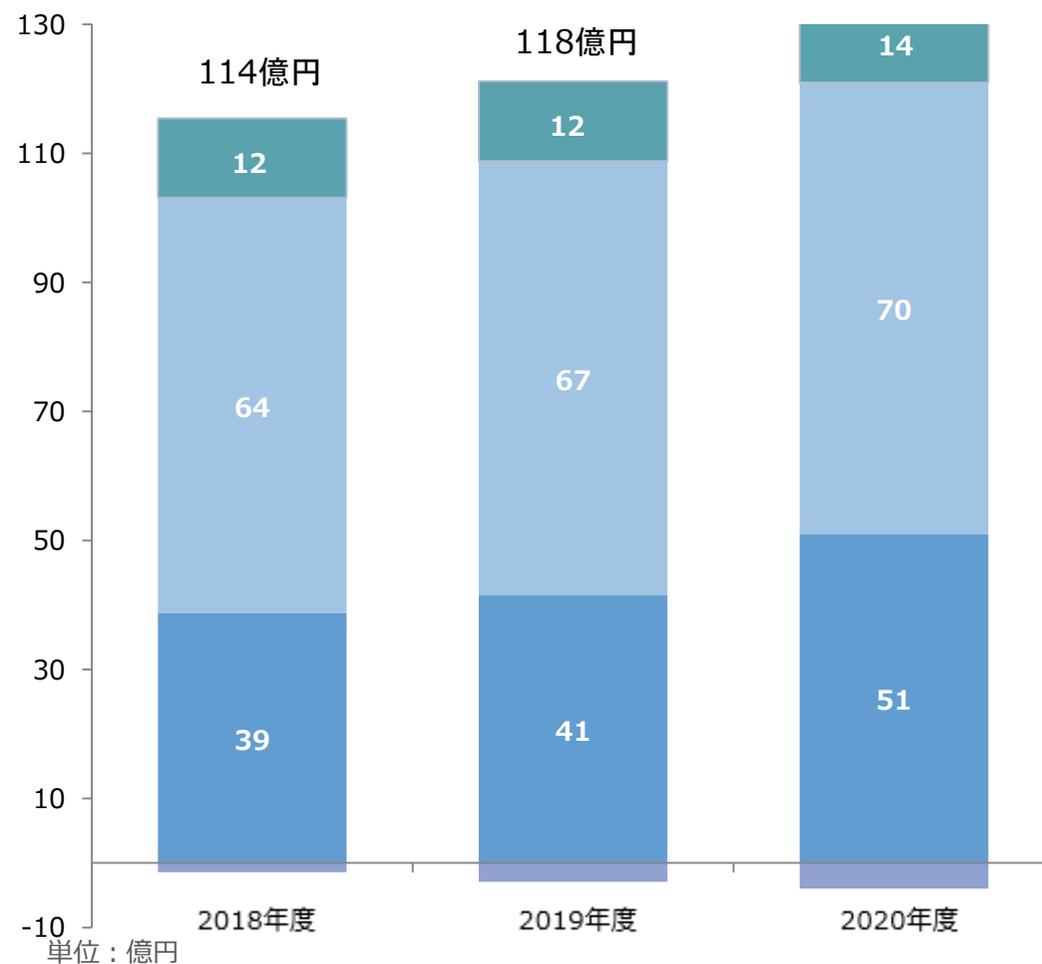


営業利益推移

- その他・共通
- 海外
- 地域保管
- 物流ネットワーク

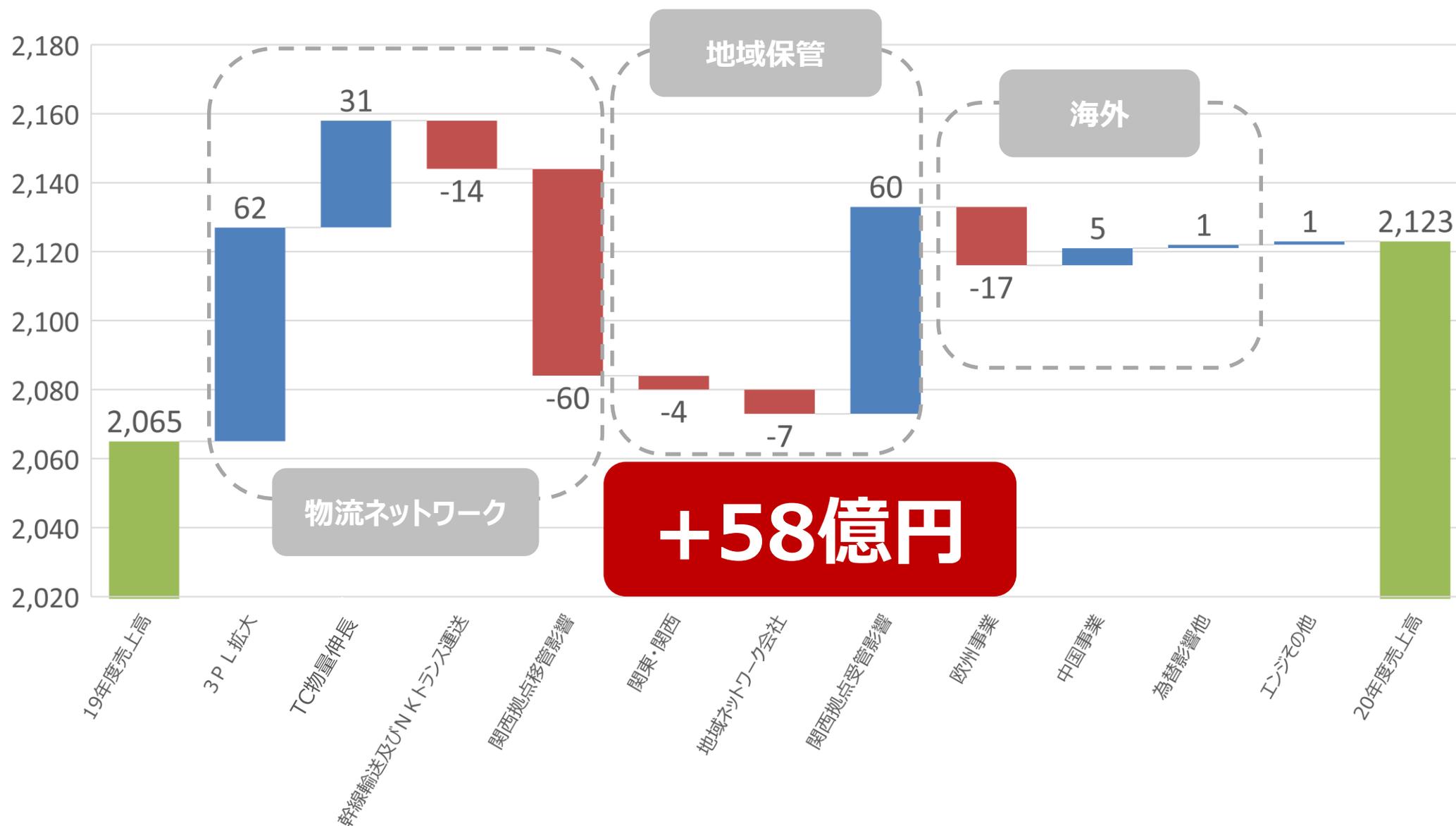
前年比**11%増**

131億円



2. 2021年3月期 決算概要

[連結：売上高の増減要因]



単位：億円

2. 2021年3月期 決算概要

[連結：営業利益の増減要因]

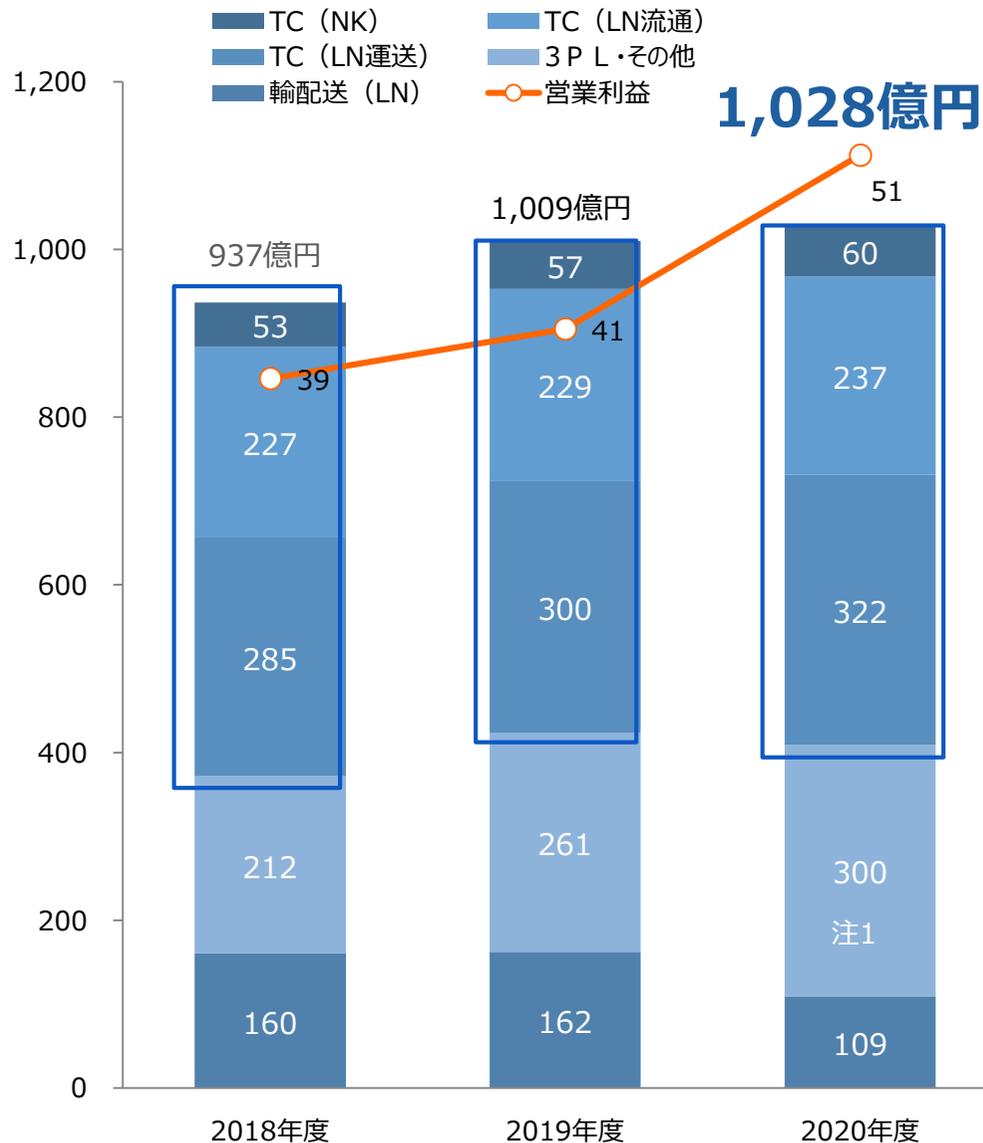


単位：億円

2. 2021年3月期 決算概要

[物流ネットワーク事業]

売上高・営業利益推移



トピックス

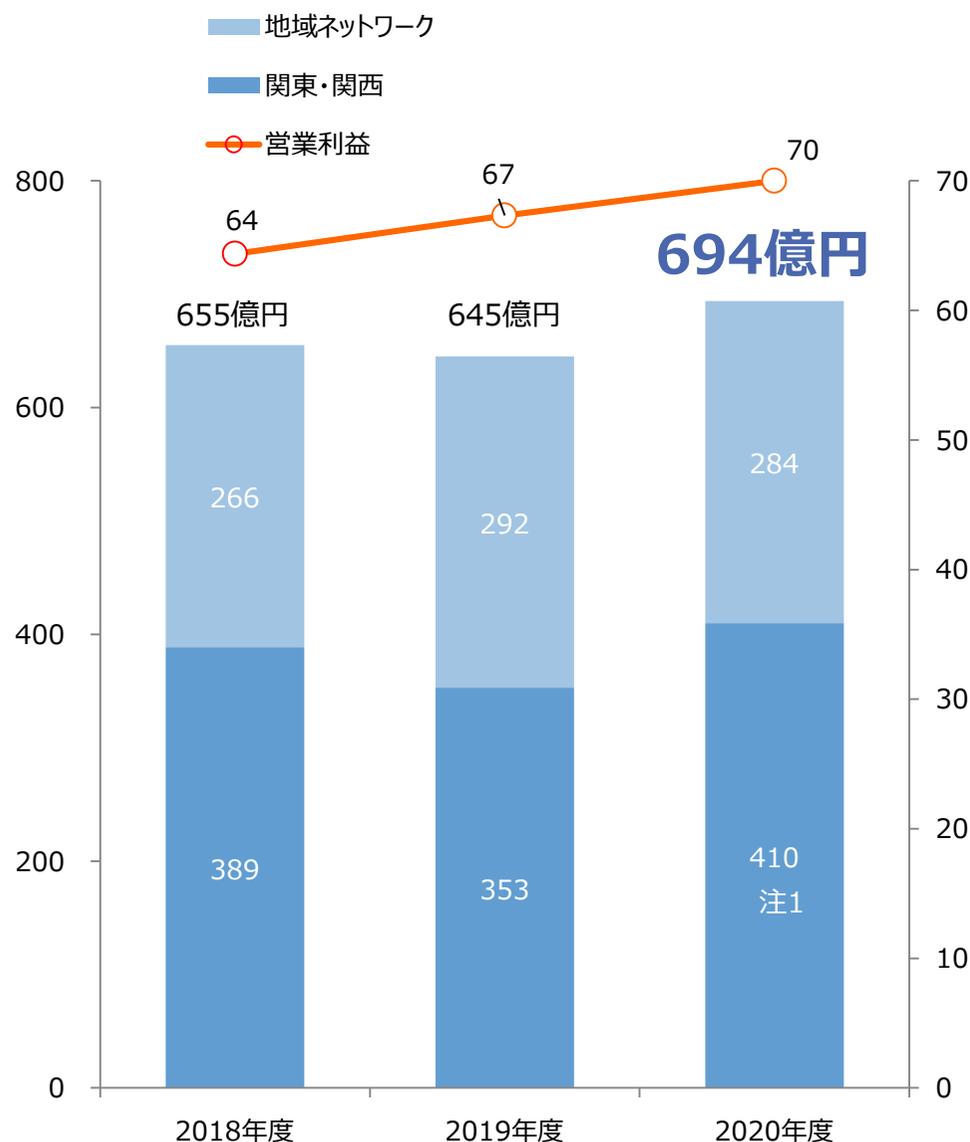
巣ごもり需要増に伴い、TC事業が業績を牽引

- TC事業**
 - 量販店を中心とした顧客の取扱物量増加
 - 物量波動に対応した適正作業コントロール
- 3PL事業**
 - 関西拠点と連携した冷食物流プラットフォームの業容拡大
- 輸配送事業**
 - 業務用冷食を中心とした取扱い物量減少
 - 配車効率向上に伴う物量波動への最適対応

2. 2021年3月期 決算概要

[地域保管事業]

売上高・営業利益推移



単位：億円

注1：物流ネットワーク事業からの移管分売上高60億円含む（大阪埠頭DC・桜島DC）

トピックス

コロナ禍における取扱減少が影響するも、適正料金收受やコストコントロールにより増益を確保

■ 大都市圏

- 下期には庫腹に緩みが見られたものの、状況に応じたコストコントロールによりカバー
- 関西地区ネットワーク化により保管と輸配送一体となった効率的な運営を実現

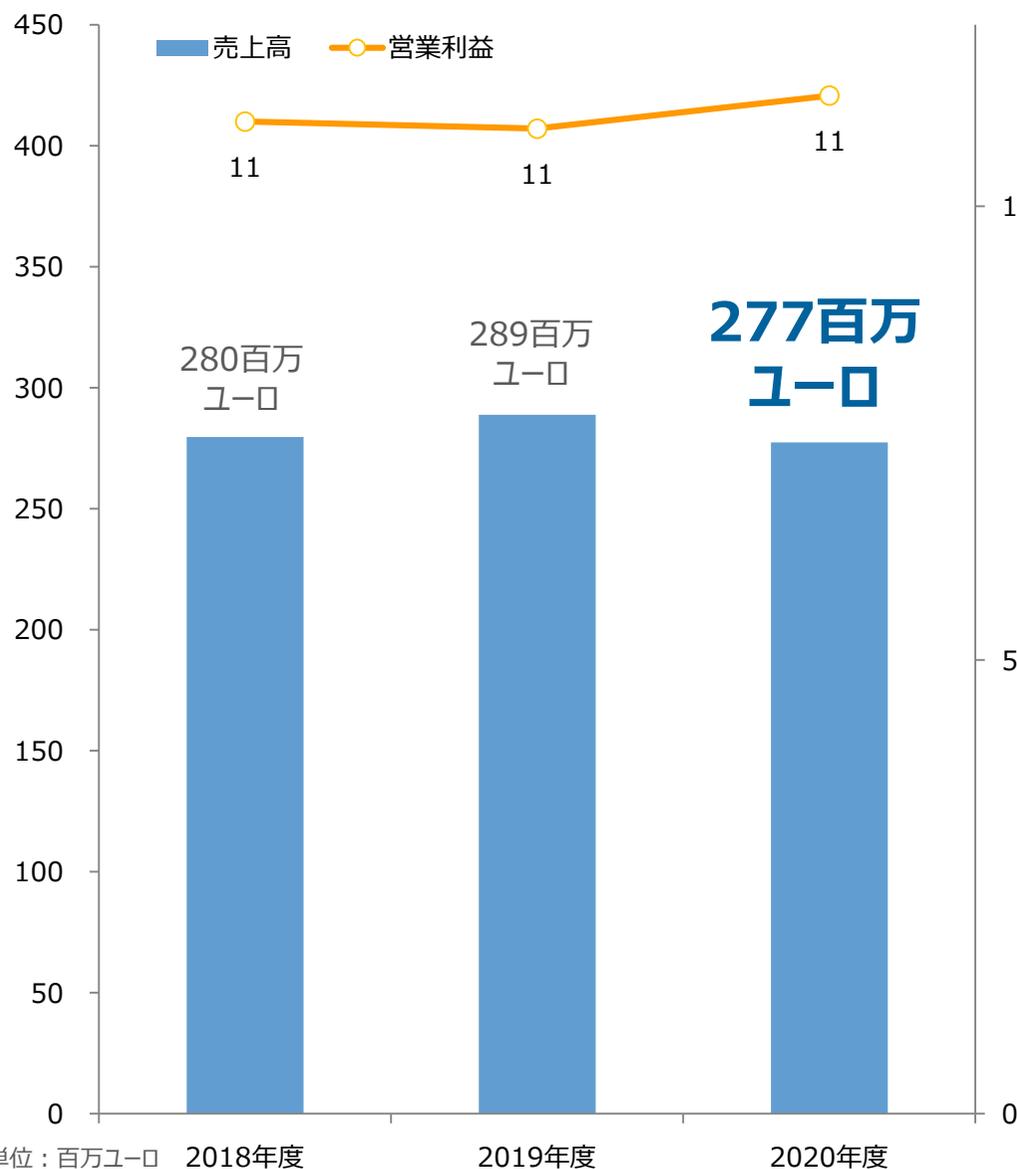
■ 地域ネットワーク

- 名古屋みなと物流センターの安定稼働
- 本牧物流センター稼働に伴う周辺拠点との連携による運送機能強化

2. 2021年3月期 決算概要

[欧州事業]

売上高・営業利益推移



トピックス

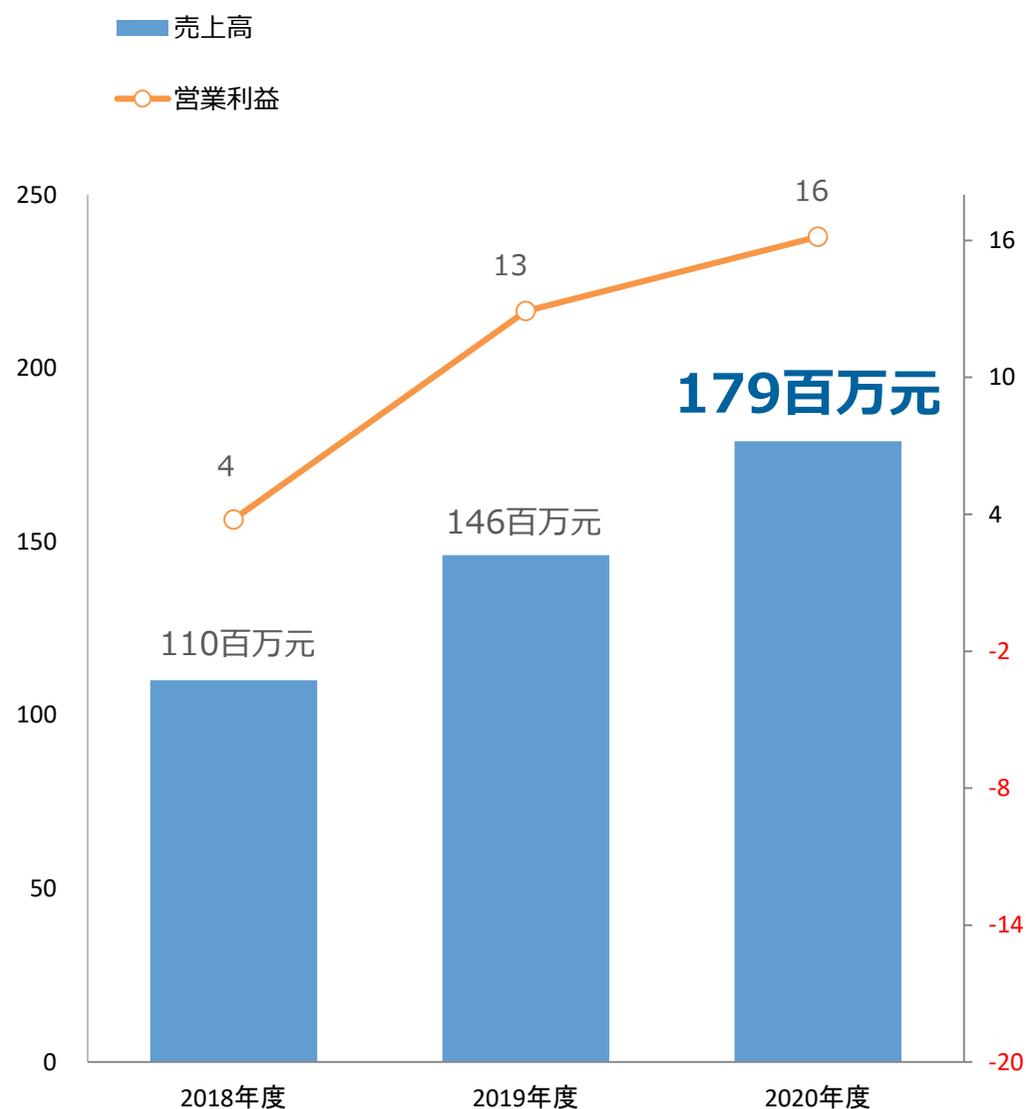
川上事業領域におけるマイナス影響を川下事業領域の好調でカバーし利益確保

- オランダ・UK・フランス（川上事業領域）
 - ・ 経済停滞に伴う輸入貨物の搬入量及び通関件数の減少
 - ・ 果汁原料作柄不良による搬入量の減少
 - ・ レストラン閉鎖による外食向け問屋顧客運送物量の大幅減少
- ドイツ・ポーランド（川下事業領域）
 - ・ 量販店顧客取扱物量増加による業績伸長
 - ・ 軽油価格下落による燃油コスト抑制

2. 2021年3月期 決算概要

[中国事業]

売上高・営業利益推移



単位：百万元

トピックス

江蘇鮮華好調が全体業績を牽引、増収増益

■ 上海鮮冷

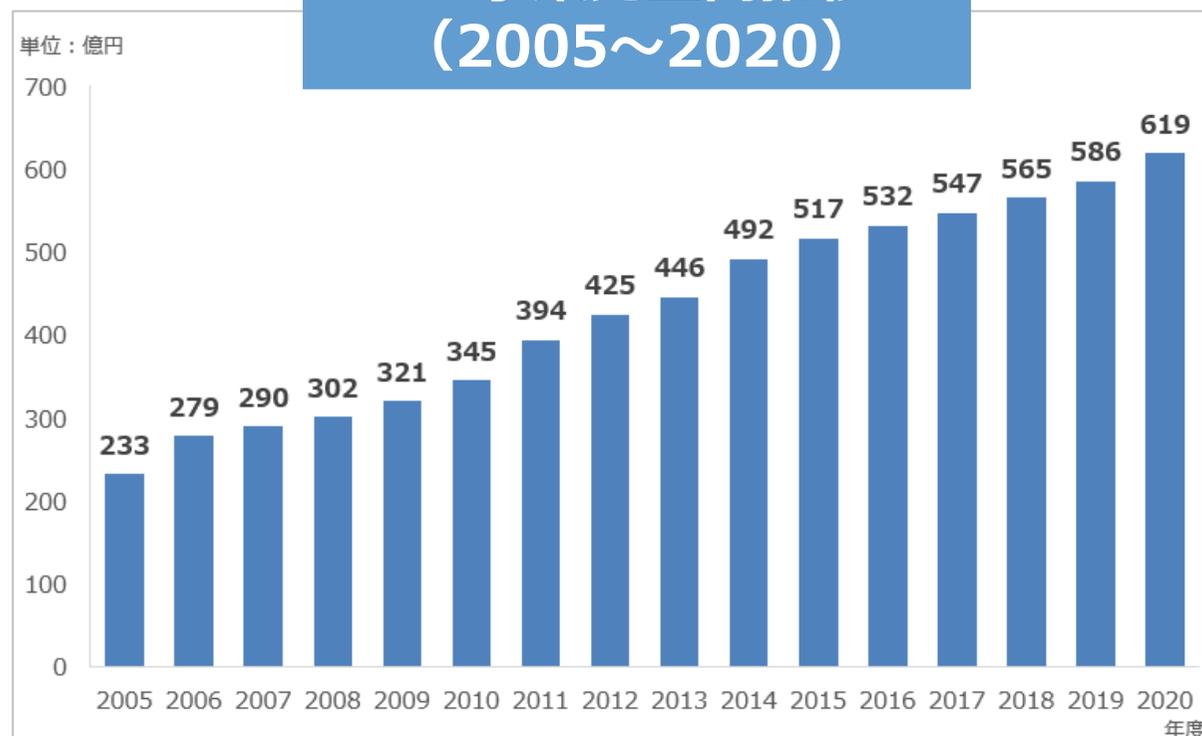
- 上期はCVS・外食向けの取扱いが落ち込んだものの下期は回復
- コロナ影響による運送取扱物量減少
- 青浦センター稼働による上海エリア事業基盤の強化

■ 江蘇鮮華

- 年間を通じコロナ影響を受けず取扱物量増加

- 2020年度の売上高は巣ごもり需要拡大を背景に600億円を突破
- 国内食品スーパー（ドラッグストア含む、CVS除く）18,303店舗の約13%に配送

TC事業売上高推移 (2005～2020)



国内配送店舗数 (2020年12月末)

2,320店舗

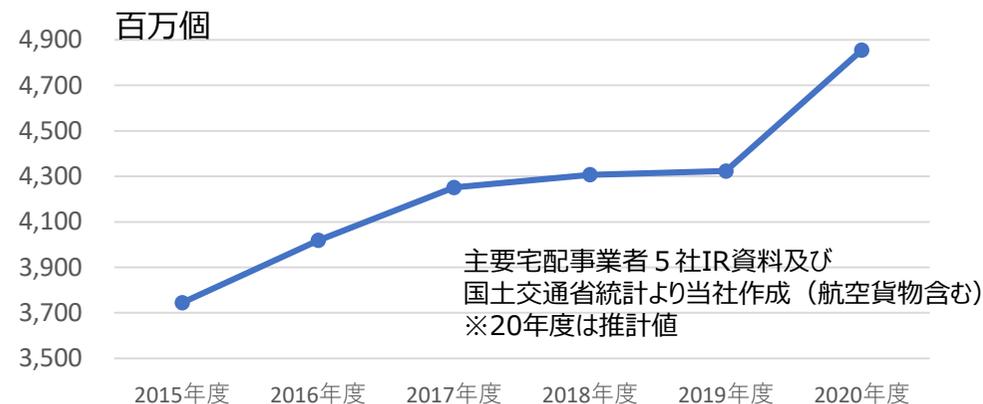
(出所) 国内食品スーパーの店舗数は、株式会社流通企画『食品スーパーマーケット年鑑 2019 全国版』より

- 大手宅配事業者である佐川急便様と22年にわたるパートナーシップを構築
(「飛脚クール便」事業)
- ニューノーマルで成長が見込まれるECにもクールセンター(CC)拠点機能をご提供

佐川急便様CC全国拠点配置



主要宅配貨物取扱個数推移



当社グループ流通加工売上高推移



1. 企業概要

2. 2021年3月期 決算概要

3. 中期経営計画

①進捗状況

②2021年度重点施策

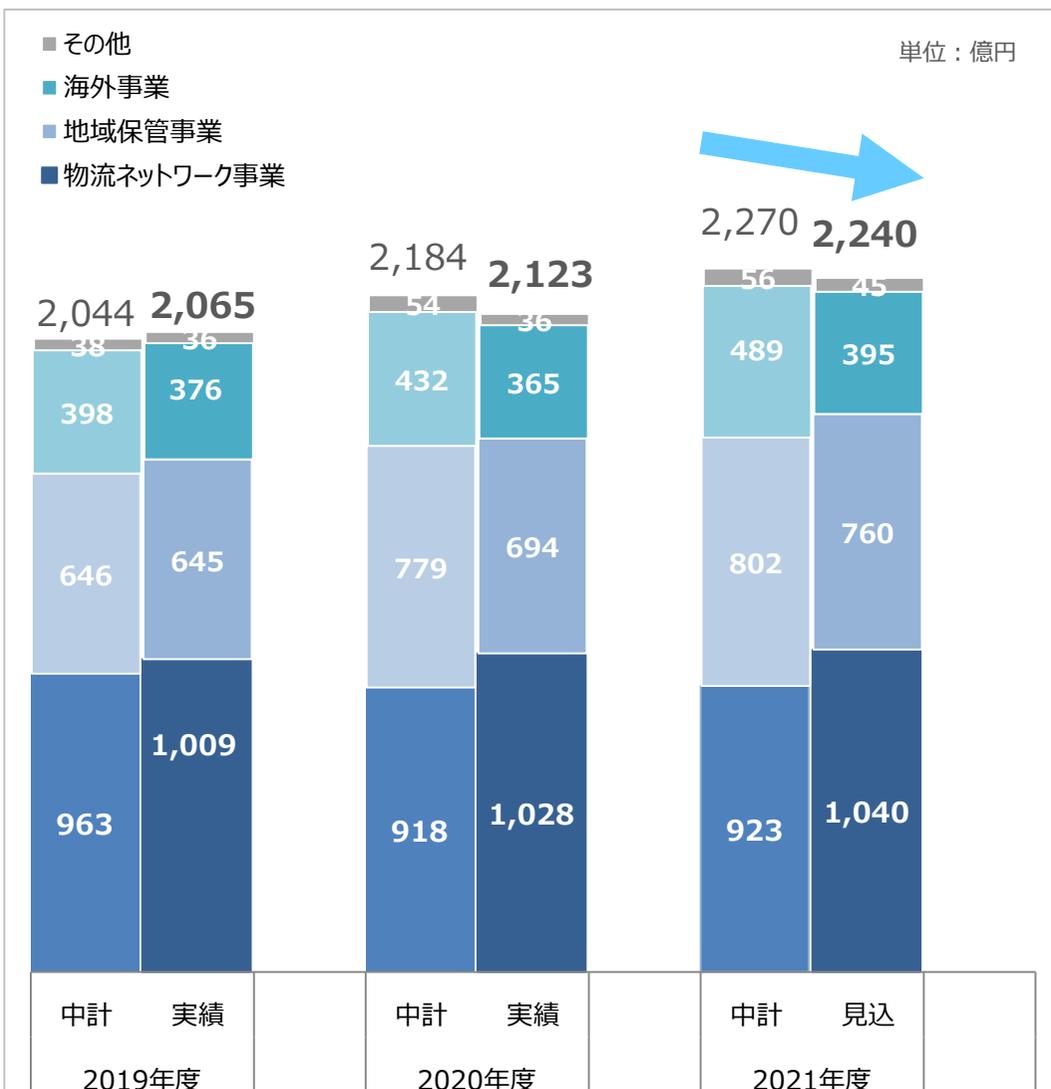
4. 参考資料

3-①. 中期経営計画（2019-2021）進捗状況

[業績進捗]

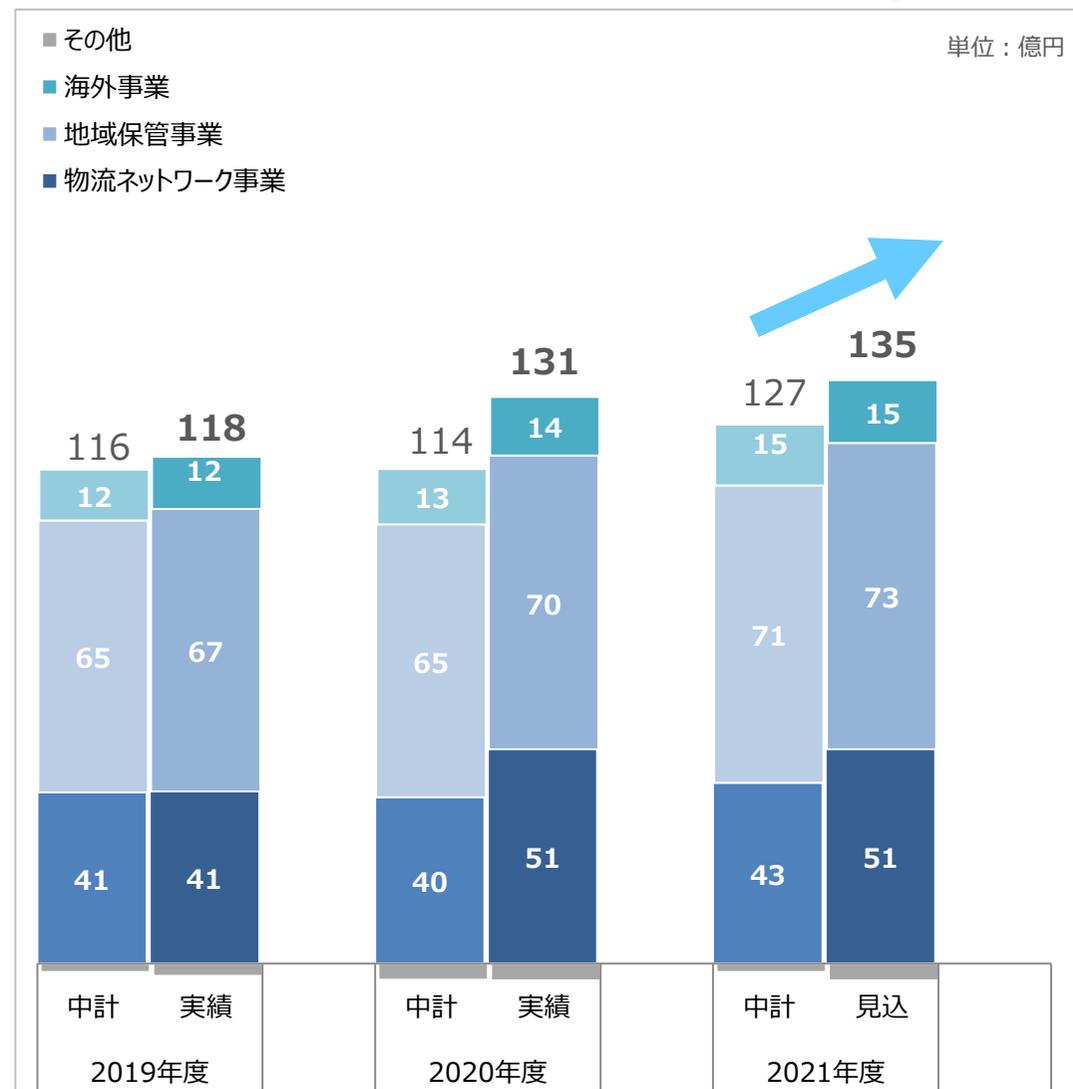
売上高

新型コロナの世界的感染拡大影響が
継続し、中計に届かず



営業利益

在庫水準の回復とコストコントロール徹底
により売上高減少影響を吸収



3-②. 業務革新のさらなる推進

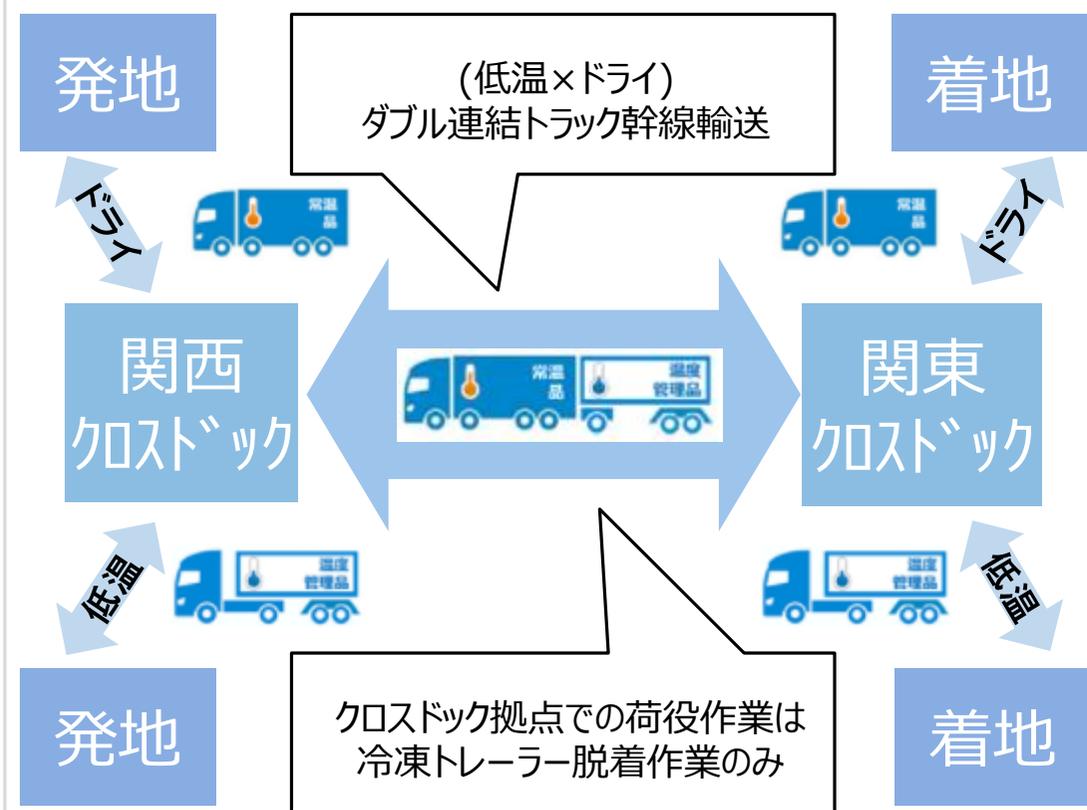
[進捗と21年度施策]

	進捗	21年度施策
事務処理 	<ul style="list-style-type: none">・RPA化18万時間達成 ※年間換算	<ul style="list-style-type: none">・RPA化27万時間目標
庫内作業 (タブレット) 	<ul style="list-style-type: none">・タブレット端末の導入と利用促進 * 全国50拠点導入済 * 現場作業時間の削減	<ul style="list-style-type: none">・新機能の導入と展開 * AIによる賞味期限読取の本格運用 * 二次元コード読取による貨物配置
庫内作業 (省人化) 	<ul style="list-style-type: none">・冷凍帯での自動運転フォーク導入・無人搬送機(AGV)の導入・実用化 * パレット搬送型AGVの導入 * TC5拠点でカゴ車搬送型AGV実用化	<ul style="list-style-type: none">・導入拠点のさらなる拡大・冷凍帯でのAGV実証実験開始・その他各種施策の継続検討
車両管理 	<ul style="list-style-type: none">・トラック予約機能30拠点導入済	<ul style="list-style-type: none">・トラック予約/AI自動配車システムのWMS連携強化

3-②. ダブル連結トラック運行開始

- 関東-関西のクロスドック中継拠点間における低温・ドライの同時大量輸送を実現
- 輸配送効率向上によるドライバー不足への対応のほか、クロスドック中継拠点での荷役作業負荷軽減および待機時間の削減にも取り組む

新規運行スキーム概要



3-②. 欧州事業基盤の強化

- マースフラクタ増設によるロッテルダム港湾ワンストップサービスのさらなる拡大
- ルアーブル及びリヨン増設による旺盛な保管需要の獲得及び運送事業基盤強化



稼働時期

2021年12月 予定

増設後
設備能力

約8,900パレット
(既存棟約3,900パレット)



稼働時期

2021年7月 予定

増設後
設備能力

約51,500パレット
(既存棟約37,500パレット)



稼働時期

2021年10月 予定

増設後
設備能力

約13,500パレット
(既存棟約4,000パレット)

3-②. UK事業の拡大

- Kevin Hancock社買収によるUK顧客基盤強化と提供サービス拡大
- Brexitを契機とするUK低温物流需要の高まりへの対応
- ロッテルダム港湾との相互連携による港湾ビジネスのさらなる拡大

■ UK事業の進捗

1st Step 2014年 TTUK買収 UK市場への進出(通関事業)

2nd Step 2020年 KH買収 付加価値サービス機能獲得

3rd Step UKにおけるさらなる業容拡大を目指す



3-②. 中国事業の拡大

- 低温物流需要の高まりを受け、既存事業基盤を軸に機動的な体制を構築
- 大手CVS顧客出店加速対応及び新規需要の獲得（南京鮮華新センター設置）

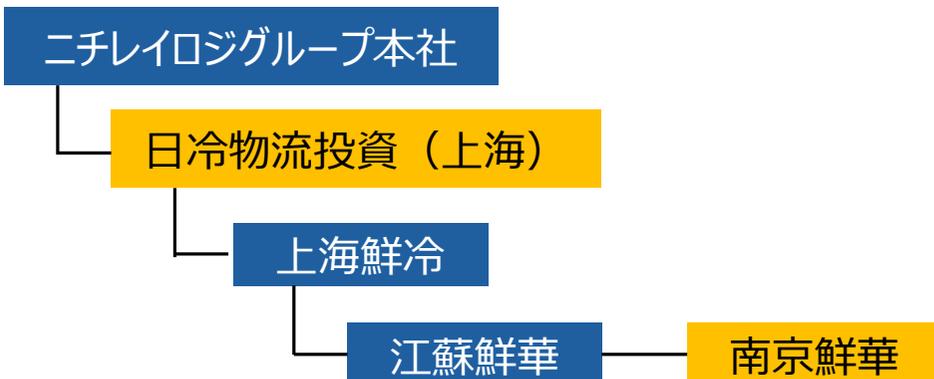
■ 日冷物流投資（上海）有限公司 概要

業務開始	2021年5月8日
資本金	1,000万 USD
出資	ニチレイロジグループ本社100%

■ 南京鮮華 低温センター 概要

稼働時期	2021年5月下旬 予定
延床面積	約4,000㎡
エリア	江蘇省南京周辺及び安徽省

■ 中国事業新体制（21年度末予定）



サードプレイスオフィス 「SateCo川崎」開設

物流センター業務のリモートワーク化を実現



- 通勤時間の短縮・ワークスタイル自由度向上
(一人一日約80分の通勤時間削減効果)
- 従業員交流による業務改善アイデアの創出

ダイバーシティ推進活動

推進活動ロードマップの策定

変革期 I

- ・無意識バイアス認知ツールによる現状把握と課題の洗い出し

次期フェーズ

変革期 II

- ・各社キーマン選定と推進支援始動
- ・シニア層へのキャリア研修実施
- ・女性・シニアの部署長への積極登用

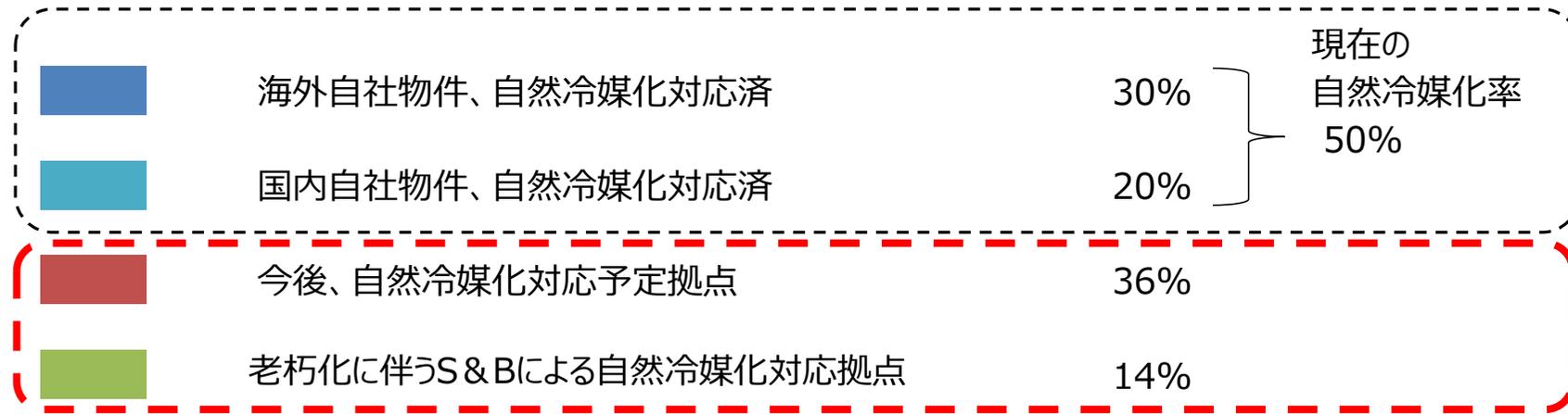
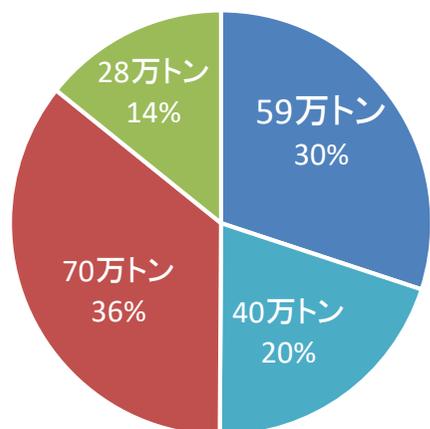
変革期 III

- ・多様な価値観の活きる組織風土の構築
- ・全ての意思決定の場にダイバーシティを導入

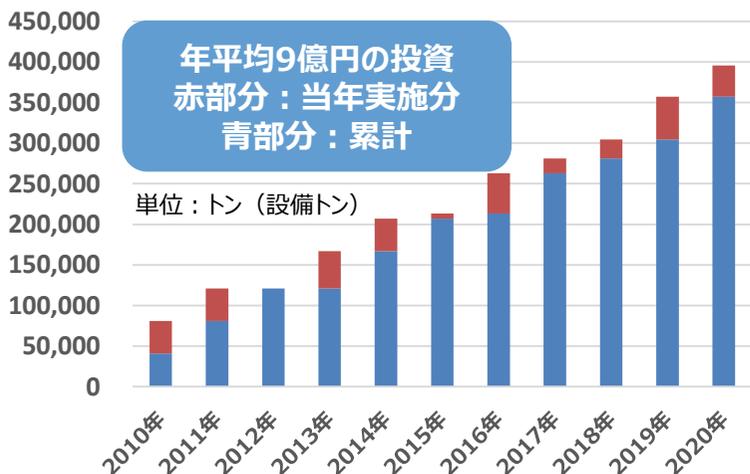
3-②. 環境負荷低減への取組み（自然冷媒化・電力使用量削減）

- 現時点でのロジグループ全体の自然冷媒化率は50%の進捗（海外含む・賃借拠点除く）
- 自然冷媒化・太陽光発電関連の投資は年平均9億円の実績（国内実績）

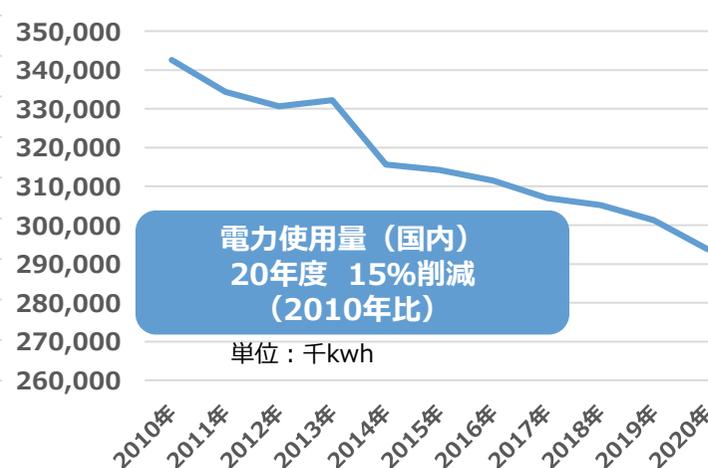
■ 現在の自然冷媒化率（2021年4月現在）



■ 自然冷媒化の進捗



■ 電力使用量の削減及び太陽光発電の進捗



1. 企業概要

2. 2021年3月期 決算概要

3. 中期経営計画

①進捗状況

②2021年度重点施策

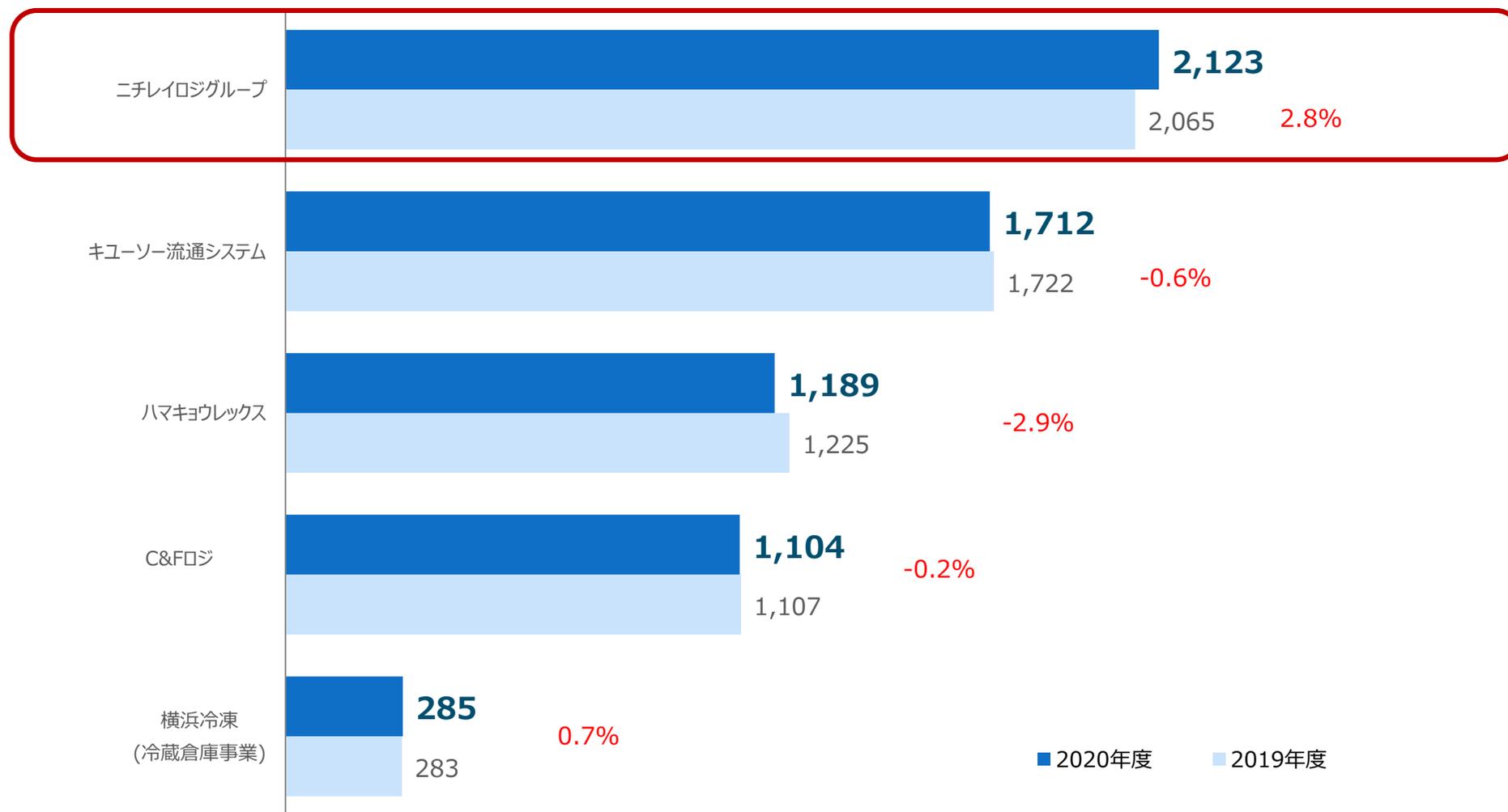
4. 参考資料

4. 参考資料

[ポジション①]

単位：億円

主要低温物流企業の売上高



※低温物流を主とする物流会社を選定

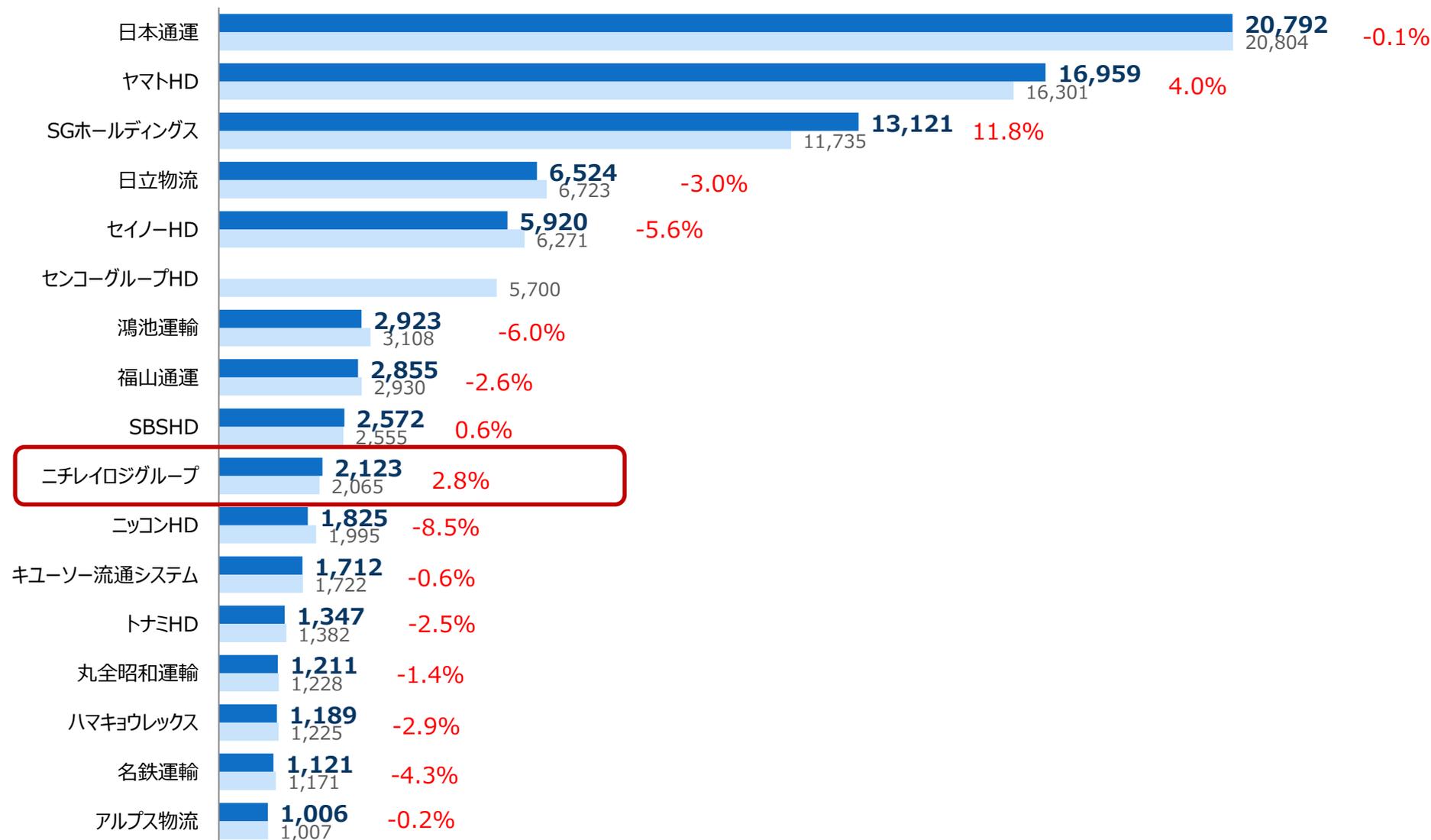
※各社決算短信（2021年5月13日時点の最新版）における年度実績数値を基に作成。

4. 参考資料

[ポジション②]

単位：億円

主要物流企業（陸運）の売上高



※トラックによる輸送を主とする物流会社を選定

※各社決算短信（2021年5月13日時点の最新版）における年度実績数値を基に作成。決算未発表会社の業績については空白。

4. 参考資料

[ポジション③]

冷蔵倉庫設備能力国内ランキング(推計)

順位	会社名	設備能力 (ト)	全国シェア
1	ニチレイロジグループ	1,494,240	9.2%
2	横浜冷凍(株)	884,325	5.4%
3	(株)マルハニチロ物流	626,526	3.8%
4	東洋水産(株)	570,734	3.5%
5	(株)C&Fロジホールディングス	501,336	3.1%
6	日水物流(株)	416,032	2.5%
7	(株)松岡	362,716	2.2%
8	(株)ランテック	300,823	1.8%
9	(株)キューソー流通システム	291,442	1.8%
10	鴻池運輸(株)	251,000	1.5%
11	五十嵐冷蔵(株)	235,510	1.4%
12	(株)二葉	234,087	1.4%
13	(株)ハウスイ	215,180	1.3%
14	(株)兵食	175,973	1.1%
15	(株)日本物流センター	172,110	1.1%
16	第一倉庫冷蔵(株)	158,424	1.0%
17	藤林グループ	155,698	1.0%
18	寶船冷蔵(株)	125,199	0.8%
19	日本デイリーネット(株)	116,718	0.7%
20	山手冷蔵(株)	113,010	0.7%

冷蔵倉庫設備能力世界ランキング

No	Company	Locations	Capacity(m3)
1	Lineage Logistics	United States, etc	50,661,616
2	Americold Logistics	United States, etc	31,426,688
3	United States Cold Storage	United States, etc	10,590,159
4	AGRO Merchants Group	United States, etc	6,865,163
5	NewCold Advanced Cold Logistics	United States, etc	5,510,621
6	Nichirei Logistics Group, Inc	Japan, etc	5,186,000
7	Kloosterboer	Netherlands, etc	4,847,354
8	VersaCold Logistics Services	Canada	3,483,224
9	Interstate Warehousing, Inc	United States	3,277,261
10	Frialsa Frigorificos	Mexico	2,894,758
11	VX Cold Chain Logistics	China	2,746,610
12	Burriss Logistics	United States	2,120,987
13	Congebec Logistics, Inc.	Canada	1,635,068
14	Conestoga Cold Storage	Canada	1,603,345
15	Constellation Cold Logistics	Belgium, etc	1,595,000
16	Comfrio Soluções Logísticas	Brazil	1,527,092
17	Superfrio Armazéns Gerais	Brazil	1,476,144
18	Hanson Logistics	United States	1,240,803
19	Magnavale Ltd.	United Kingdom	1,159,510
20	Friozem Armazéns Frigoríficos	Brazil	1,053,000

4. 参考資料

[損益計算書（連結）]

単位：億円、端数四捨五入、（ ）内利益率

	前期		当期		前期比
売上高	2,065		2,123		+2.8%
営業利益	118	(5.7%)	131	(6.2%)	+10.7%
経常利益	114	(5.5%)	127	(6.0%)	+11.6%
税引前利益	103	(5.0%)	128	(6.0%)	+25.0%
当期純利益	65	(3.1%)	87	(4.1%)	+33.9%

※利益率は1円単位で計算

4. 参考資料

[損益計算書（セグメント別）]

(単位：百万円)

		前期	当期	前期比	増減率
売上高	物流ネットワーク	100,909	102,827	1,918	+1.9%
	地域保管	64,454	69,353	4,900	+7.6%
	海外	37,572	36,544	▲ 1,027	-2.7%
	その他・共通	3,562	3,594	32	+0.9%
	合計	206,497	212,320	5,824	+2.8%
営業利益	物流ネットワーク	4,149	5,119	969	+23.4%
	地域保管	6,732	6,956	224	+3.3%
	海外	1,237	1,410	172	+14.0%
	その他・共通	▲ 294	▲ 401	▲ 107	-
	合計	11,824	13,084	1,259	+10.7%

4. 参考資料

[財務諸表分析]

		前期末	当期末
総資産	百万円	169,648	181,136
負債	百万円	90,621	95,258
うち、有利子負債	百万円	50,142	55,535
うち、有利子負債（リース債務除く）	百万円	34,986	40,334
純資産	百万円	79,026	85,877
D/E比率	倍	0.6	0.6
D/E比率（リース債務除く）	倍	0.4	0.5
自己資本比率	%	46.4%	47.2%
売上高	百万円	206,496	212,320
当期純利益	百万円	6,487	8,688
自己資本利益率（ROE）	%	8.2%	10.2%
総資産利益率（ROA）	%	3.8%	4.8%
総資産回転率	倍	1.2	1.2

注1：D/E 比率の算出方法：有利子負債÷純資産（少数株主持分を除く）

4. 参考資料

[設備投資の状況]

〈設備投資等〉

(単位：百万円)

前期	当期	前期比	次期計画	当期比
17,072	19,919	+2,847	19,823	-96

〈減価償却費〉

(単位：百万円)

前期	当期	前期比	次期計画	当期比
9,840	10,473	+633	11,112	+638

〈主な設備投資〉

(単位：百万円)

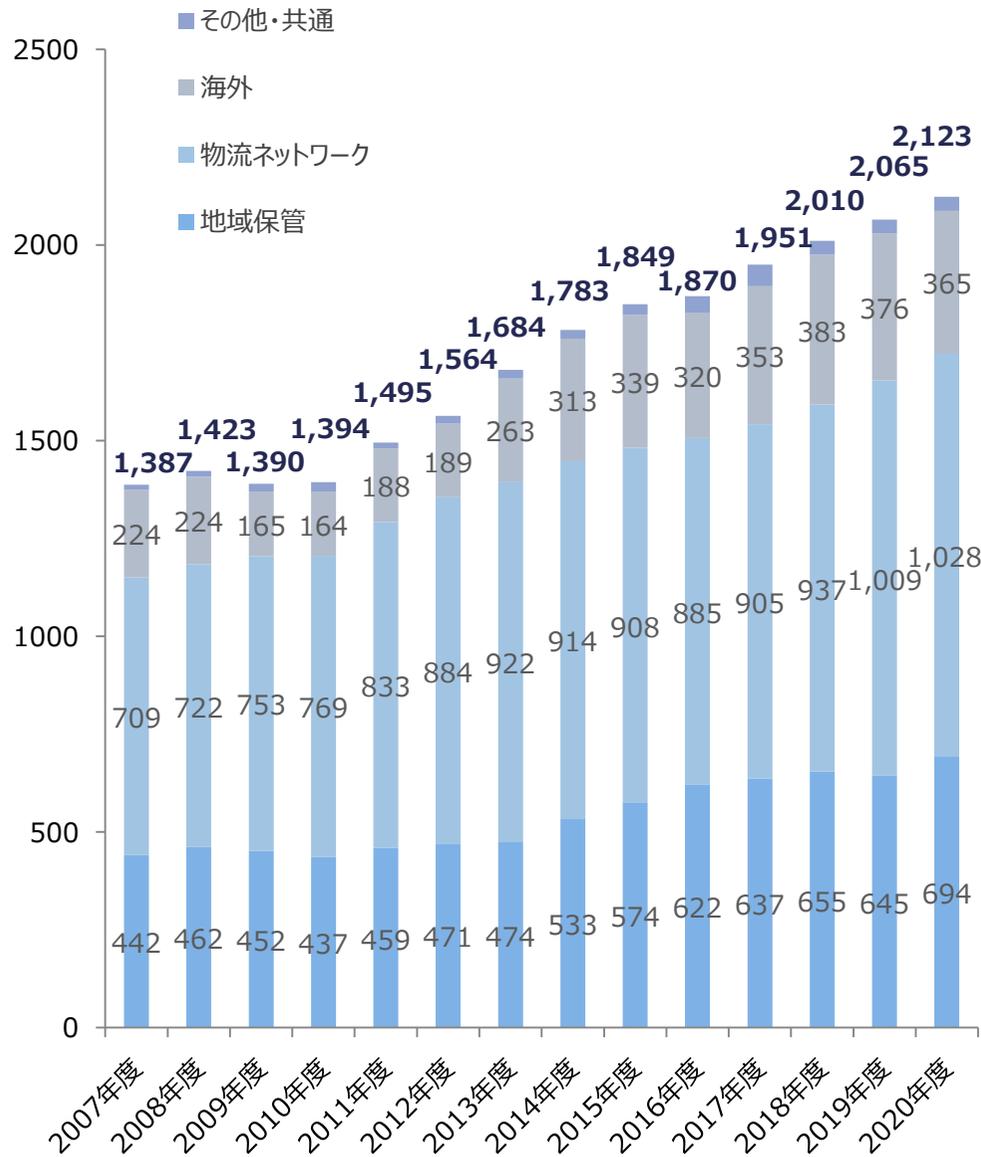
完了年月	会社名	所在地	設備の内容	設備投資 総額	当期計上額	完成後の 増加能力
	事業所名				(既計上額)	
2020年 4月	(株)ニチレイ・ロジスティクス東海 名古屋みなと物流センター	愛知県 名古屋市	物流センターの 新設	9,992	1,335 (9,992)	冷蔵能力 37,294 t
2021年 3月	(株)キョクレイ 本牧物流センター	神奈川県 横浜市	物流センターの 新設	7,623	5,591 (7,623)	冷蔵能力 30,773 t

注：上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4. 参考資料

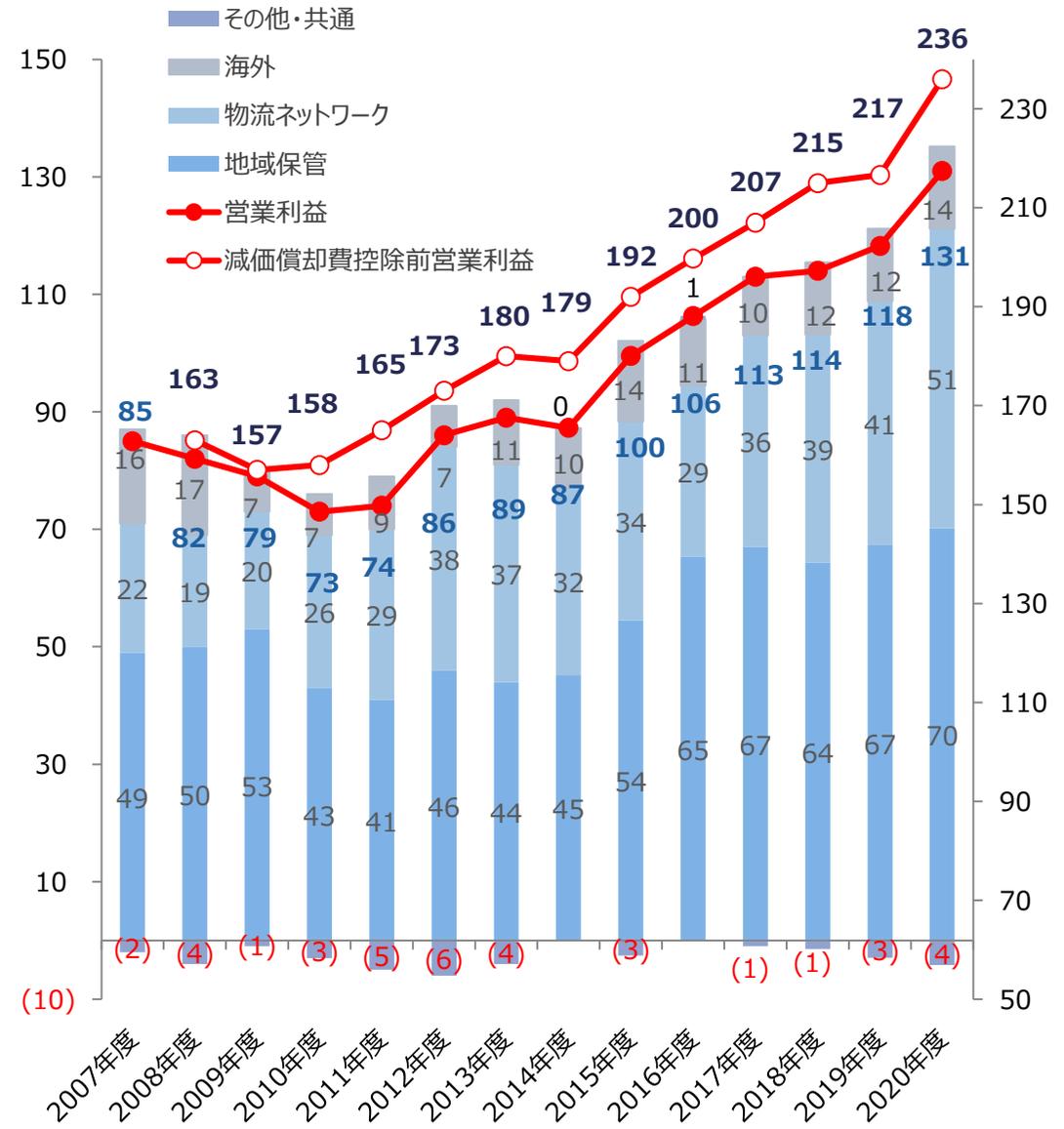
[分社後の売上高・営業利益推移]

売上高推移



単位：億円

営業利益推移



単位：億円

この説明資料に記載されている当グループの現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。

将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られた当グループ経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、経済情勢および業界環境、為替レート変動、品質保証体制確立の実現性、新サービスの実現性、成長戦略とローコスト構造の実現性、当グループと他社のアライアンス効果の実現性、偶発事象の結果、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響など、リスクや不確実な要素を含んでおりますので、業績見通しのみで全面的に依拠して判断されることは、お控えいただきますようお願いいたします。

【お問合せ先】

株式会社ニチレイロジグループ本社 経営企画部

Tel 03-3248-2175 Fax 03-3248-2130

株式会社ニチレイ グループコミュニケーション部 広報グループ

Tel 03-3248-2235 Fax 03-3248-2120

株式会社ニチレイロジグループ本社 ホームページ

<https://www.nichirei-logi.co.jp/index.html>

